

2024年8月23日
株式会社ファーストロジック

YouTube「楽待 RAKUMACHI」の チャンネル登録者数が80万人を突破！

山田邦子さん、カンニング竹山さんなどの著名人を起用した新番組がスタート

本リリースのポイント

- ・不動産投資の「楽待」が運営するYouTubeチャンネルの登録者数が80万人を突破
- ・経済や政治といった幅広いテーマの動画を公開しており、視聴者層が拡大
- ・直近ではタレントの山田邦子さんを起用した「60歳からのマネープラン」という新番組をスタート



不動産投資の「楽待」が運営するYouTube「[楽待 RAKUMACHI](https://www.youtube.com/@rakumachi/featured)」のチャンネル登録者数が80万人を突破しました。2017年5月に動画投稿を始めた本チャンネルでは、これまで1300本以上の動画を公開し、総再生回数は3億3000万回超。2024年7月10日に70万人を突破しましたが、その後1カ月と12日で登録者数80万人に到達しました。

「楽待 RAKUMACHI」YouTubeチャンネル：<https://www.youtube.com/@rakumachi/featured>

YouTubeチャンネル「楽待 RAKUMACHI」

不動産投資をわかりやすく映像で伝えるチャンネルです。2017年5月から本格的に動画投稿を始め、2020年3月にチャンネル登録者数10万人を突破。その後も登録者数を伸ばし続け、2024年8月に80万人を突破しました。再生数100万回超えの長尺動画は現在36本で、UserLocal社が発表している[YouTube 企業公式ランキング](#)では、国内49位にランクインしています（2024年8月22日時点）

登録者増加の背景

不動産投資だけではなく、経済や政治といった幅広いテーマの番組を公開し、視聴者層を広げています。また新番組として、山田邦子さんを起用した「[60歳からのマネープラン](#)」、カンニング竹山さんを起用した「[クセがつよい！不動産](#)」、家にまつわる恐怖体験を話す「[家にまつわる怖い話](#)」などのシリーズを立ち上げました。



そのほかにも、2024年7月に配信を開始したNetflixオリジナルドラマ「[地面師たち](#)」の原作者・新庄耕さんと、小説とドラマの監修を務めた長田修和さんのスペシャル対談などの特別番組を公開。楽待では、これからも幅広い世代に不動産投資や経済を正しく理解してもらうため、YouTubeでの動画配信に注力してまいります。

不動産投資の「楽待」概要

2006年3月に開設した「楽待」は、月間168万人が訪れる、使いやすさ・利用者数・掲載物件数・No.1(*1)の不動産投資プラットフォームです。全国5100社の不動産会社が毎日物件情報を登録しており、ユーザーは自身の希望条件で絞り込んで、目当ての物件を探することができます。

また、不動産投資専門メディア「楽待新聞」を通じ、業界のニュースや不動産投資の成功談・失敗談などを発信。公式YouTube「楽待 RAKUMACHI」はチャンネル登録者数80万人、総再生回数は3億3000万回にのぼります。（2024年8月時点）

不動産業界のDX（デジタルトランスフォーメーション）を促進するため、2020年6月には、不動産会社とオンライン通話ができる「ビデオ通話」機能もリリースしました。更に2022年6月には有料会員サービス「楽待プレミアム」を開始。登録することで、業界初(*2)の独自機能「賃貸経営マップ」やプレミアム会員限定動画が見放題になります。

「公正な不動産投資市場を創造する」というビジョンのもと、不動産投資家・加盟不動産会社の双方にとって使いやすい機能やサービスの提供に努めてまいります。また、2024年10月25日からは社名を株式会社ファーストロジックから「楽待株式会社」に変更予定です。

【会社概要】

社名：株式会社ファーストロジック

URL：<https://www.firstlogic.co.jp/>

上場市場：東証スタンダード（証券コード：6037）

本社：東京都中央区八丁堀三丁目3番5号 住友不動産八丁堀ビル5階

設立：2005年8月23日

事業内容：国内最大の不動産投資プラットフォーム「楽待」の運営



【本件の問い合わせ】

株式会社ファーストロジック広報担当 尾藤

携帯電話：080-4129-5743

固定電話：03-6833-9438

E-mail：rakumachi@firstlogic.co.jp

*1 『物件数 No.1』：日本マーケティングリサーチ機構調べ（2022年12月）

『使いやすさ No.1』：ゴメス・コンサルティング調べ（2022年12月）

『利用者数 No.1』：自社調べ（2022年12月）

*2 自社調べ（2023年4月）

